

松戸商工会議所 ブリッジ

元気な企業、元気な街、
行動する
松戸商工会議所

<http://matsudo-cci.com>



シーズンを迎えた観光梨園(松戸市文化観光国際課提供)

特集 積極的なIT活用で生産性向上

連載 あの店 この店 その会社

都機工(株) お客様のベストチョイスを提供できる専門商社
(株)テレウス 設計業とハンドバイクの輸入販売



質の高い言語リハビリ教材を開発、IT化

(有)ミカタは2004年8月に設立。渡辺賢二社長の父親が脳梗塞で倒れ、言語障害になったことがきっかけだった。松戸、市川、船橋、千葉の4事業所で、脳卒中や事故などの後遺症で起こる失語症や言語障害を持つ方を対象に、言語に特化したデイサービス

を運営している。ITの積極的な活用により千葉県の企業としてはじめて、経済産業省の「攻めのIT経営中小企業百選」に選ばれた。同社の言語リハビリテー

ションでは、グループでの言語療法と個別学習療法が行われている。

松本真紀さんを中心に言語聴覚士5人で教材委員会を立ち上げ、11年間で延べ9万人以上の利用者に提供してきた教材やリハビリ手法を基に、IT化したオリジナル教材を作りあげた。

グループでの言語療法には、大型ディスプレイの画面をタッチ操作したり、書き込みしたりできる「電子黒板」を導入。利用者各自にはタブ

レットが用意され、電子黒板と同じ画面が表示され、書き込むことができる。目が悪くなっている利用者もいるため、手元にある画面の方が見やすい上、言語障害の重症度が違う利用者全員が共通理解を図り、同時に参加できるようになった。聞いても分からないという失語症の症状があるため、それを補うために、「見て分かる」という工夫が必要なのだという。

利用者の興味を引き出すために、教材は国語、数学、理科、社会、スポーツ、音楽、文化と多岐にわたり、言語障害の重症度に偏らないように難易度も配慮されている。映像を使ったITコミュニケーション教材は365種類。

個別学習療法では、同社開発の高齢者用学習プリント教材自動選択システムが使われている。

読む、書く、漢字、計算に加え、さらに上級編となる理科、社会まで1000種類の問題が、認知機能に合わせた10段階のレベル別のプリントになっている。自動選択システムソフトを使い、プリントの採点結果を入力すれば、次に学習する教材が自動印刷される。結果により、自動でレベルの降昇級もでき、常に利用者に合う教材を用意することができる。

教材は、クラウドのデータストレージに共有され、4事



▲「脳楽習®」の無料貸出機器と言語聴覚士の松本真紀さん

業所で利用できる。教材の準備と選択に多くの時間を割いていた社員の負担を大きく減らした。過去5年間の売上高は約1.7倍に伸びた。

全国的には言語聴覚士が不足しており、1人もいない地域もある。他の施設でも質の高い言語リハビリ教材を使っほしいという思いから、同社では、ITコミュニケーション教材と高齢者用学習プリント教材自動選択システムを「脳楽習®」として外販することにした。1か月のお試し期間にセットとしてタブレット、プリンター、ルーターを無料貸出。IDとパスワードを入力すると、「脳楽習®」のクラウドサービスに接続できるようにしている。言語聴覚士が希望する事業所に出向き、デモ版のプレゼンテーションを行う。問い合わせは、☎047-342-0005同社まで。



上：電子黒板を使ったグループ言語療法
下：タブレットに書き込む利用者